

事業名 古平漁港防風雪施設整備事業

〔 厳寒、強風雪という劣悪な自然条件下における漁獲物の網外し等の作業環境を改善することにより利用者から高い評価を受けている事業 〕

受賞機関 北海道開発局小樽開発建設部
小樽港湾建設事務所
事業実施期間 平成10年11月12日～平成13年11月15日
事業費 463百万円

事業等の特徴

当地区における冬場の岸壁上の漁業活動は、氷点下で、かつ、強風の中で行われてきており、特に、漁獲物の網外しは過酷な作業であった。当施設は、これらの作業に従事する高齢者、女性の就労環境を大きく改善することができるものとして利用者のみならず、漁港整備にかかる関係者の注目を受けている。当施設は、漁港での就労環境改善を図る施設づくりの端緒となるもので、今後の防風雪施設整備の発展に寄与するものと思われる。

事業の概要と利用者等の評価

古平漁港は北海道南西部、積丹半島の東側中央部に位置する第3種漁港である。

当漁港における主な漁業は、スケトウダラ刺網漁業であるが、当漁業は冬季が最盛期であり、陸揚げ作業及び魚の網外し作業は厳寒、強風雪の屋外で行

われていたことから、作業者は劣悪な就労環境での作業を強いられていた。このため、健康への不安、作業効率の低下、これによる漁獲物の品質低下、さらには、こうした就労環境から後継者不足を招くことが懸念されていた。劣悪な就労環境改善を目的とした防風雪施設を整備することとした。

利用者等の評価

利用者（漁業者）に対してアンケートを実施（平成12年2月）。結果は以下のとおりである。

- ・寒さ、雪による負担が軽減され、作業環境が良くなった（8割）
- ・屋根が付いたことにより作業場所及び魚箱の除雪が不要となり作業時間の短縮につながった（10割）
- ・作業場所の風が弱められ、漁具・魚箱が飛び散ることが少なくなった（6割）
- ・直射日光が遮られることにより魚の鮮度が向上した（8割）等

審査委員会委員の意見等

- ・地域における重要な施設である。
- ・漁港における就労環境改善を目指した最初の漁港整備事業であり、直接的な改善効果はもとよりであるが、後継者確保等への波及効果も期待される。
- ・漁業者からの評価は高いようであるが、一部の関係者に限定されている。
- ・労働環境改善事業として期待したい。



整備前



整備後